

2021年12月1日 発行

イオンコンパス株式会社  
流通視察ドットコム

↓その他情報はサイトにアクセス!  
<http://www.ryutsu-shisatsu.com/>

## ■プライスチョッパーとトップスマーケットが合併 (11/9)

2021年度早々に話題となっていたアメリカ東海岸を拠点とする2つの中堅リージョナルSMの合併が、先日連邦取引委員会によって正式に承認されました。ニューヨーク州を拠点に、コネチカット州、ニューハンプシャー州、ペンシルベニア州、バーモント州で131店舗を展開しているPrice Chopper/Market 32と、同じくニューヨーク州を拠点にペンシルベニア州、バーモント州で162店舗を展開しているTops Marketsが合併しました。新たな親会社はNortheast Grocery Inc.となります。それぞれの店舗は、従来通りの店舗バナーで営業を継続するという事です。Price Chopperは1992年に、世界初のセルフレジを導入したことで知られています。

## ■プライマークが出店加速 (11/9)

アイルランド発のファストファッションブランドのプライマーク (Primark)が、アメリカを中心に出店を加速中です。現在世界14カ国で395店舗を展開中ですが、今後5年間で530店舗まで店舗数を増やす予定です。

1969年創業で、低価格で高品質、独自デザインや有名ブランドとのコラボ企画などで「プライマニア」と呼ばれる熱狂的なファンを持つプライマークですが、2015年よりアメリカに出店し、現在、東海岸を中心に13店舗を展開しています。アメリカでは今後5年間で、60店舗まで店舗数を伸ばして行くということです。

今年9月18日までの1年間のアメリカでの売上は、2年前の同期比で6%増と好調な業績を発表しました。日本には未上陸のプライマークですが、これからも要注目の企業です。

## ■ 小売店舗への来店頻度が改善傾向（11/24）

今年9月のメールマガジン「米國小売企業来店頻度から見る顧客ロイヤルティランキング」にて、ショッパーマーケティング大手のインマーケット社がまとめている顧客ロイヤルティレポートの2021年第2四半期のランキングをご紹介しましたが、最新（2021年7月～9月）のランキングが発表されたのでご報告します。

前回の第2四半期（4月～6月）の平均スコアは1.33でしたが、今回の第3四半期では1.37にアップしました。

順位	企業名	スコア	前回成績
1	ウォルマート	4.18	3.22（1位）
2	マイヤー	3.26	2.58（3位）
3	フレッド・マイヤー	2.95	2.62（2位）
4	コストコ	2.52	1.93（7位）
5	ターゲット	2.50	2.14（4位）
6	ホームデポ	2.39	2.03（6位）
7	ロウズ	2.30	2.04（5位）
8	ダラーゼネラル	2.27	1.92（7位）
9	サムズクラブ	2.14	1.88（9位）
10	ダラーツリー	1.86	ランク外

新型コロナによる新規感染者数はいまだに高い水準のままではありますが、社会生活は急速に元の日常に戻りつつあります。

ランクインした全ての企業が前回よりもスコアを伸ばす結果（来店頻度増）となりました。ウォルマートは7月末で終了した第2四半期決算で前年同期比2.4%増、マイヤーはオンラインの店舗ピックアップが前年から倍増、コストコは8月1ヵ月間の売上が前年比16.6%アップ、サムズクラブも7.7%アップ等軒並み業績に反映されました。今後もこのランキングに注目していきたいと思えます。

## ■ ダラーツリーが商品の値上げへ（11/25）

ほとんどの商品を1ドルで販売するダラーストア大手のダラーツリーが、商品価格を1.25ドルに値上げすると発表しました。ダラーツリーは直近の第3四半期の既存店売り上げが前年比1.6%増と好調な業績を残していますが、高騰するサプライチェーンコストと従業員への待遇向上および新たな商品開発のため35年間続けてきた1ドルの価格設定の変更を決めました。

決定に際して、顧客への事前調査を行い、値上げ後も91%の消費者から今後も従来通りあるいはより一層ダラーツリーでの買い物をするという肯定的な回答を得たということです。新たな商品価格は2022年第1四半期（2022年2月～）までに全16,000店舗で導入される予定です。